

ひまひまチャンネルとコラボし防災訓練

東京消防庁 志村消防署

志村消防署では、防災週間に合わせ人気中学生クリエイター「ひまひまチャンネル」に依頼し、当署で企画した防災訓練等の様子をYoutubeチャンネルで配信してもらう当庁初の試みを実施しました。

撮影は令和2年8月19日に実施し、新型コロナウイルスの影響で防火防災訓練の開催が難しい中、「自宅で防災意識を高めてもらう」をコンセプトに消火器の取り扱い方法など、在宅している若者に楽しく学んでもらえる内容となっております。

コロナ禍における消防PR事業！
ファイアーヒーローズマスクを製作しました。

豊橋市消防本部

当本部は、熱中症予防と、新型コロナ対策を兼ねたマスクを地元企業と連携し製作しました。マスクはドライTシャツの生地を使用し、暑い時期や、身体的距離が確保できている際は、柔軟にマスクを着脱することの大切さを啓発します。パッケージには、地域のヒーロー消防団としてマスクを着用した消防団員のイラストを添え、消防団を全面にPRしています。コロナ禍で多くの集客を伴う啓発イベントの開催に苦慮する中、市民の関心が高い啓発品で消防情報の発信と消防団のPRを試みます！



マスクのデザインは、はしご車をはじめ、今年の3月に配備された水陸両用車、消防団の多機能型積載車の全3種類があります。

消防通信 望楼 ぼうろう

「煙体験ゴーグル」と「救急はさみ用アタッチメント」を開発

湖北地域消防本部

湖北地域消防本部の4人が開発した煙体験ゴーグルと救急はさみ用アタッチメントが全国消防協会主催の「消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文」の機器の部でそれぞれ会長賞に輝き、消防長から表彰伝達を実施しました。

2019年度は全国から130点の応募があり、煙体験ゴーグルと救急はさみはいずれも最優秀賞(1点)に次ぐ秀賞(6点)に輝きました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の中、もの静かになっていた消防本部内に明るい話題が無い込んできました。

蜂が活発となる時期にアナフィラキシーの
広報を住民に対して実施

田辺市消防本部

田辺市消防本部では、蜂が特に活発で危険となる夏から秋にかけて、予防救急の一環として管内の蜂刺傷による救急搬送の状況や、蜂刺傷に伴うアナフィラキシー症状について、地元地方紙を通じて市民に広報するとともに注意喚起を行っています。

管内は山間部も多く、毎年10件程度の蜂刺傷による救急要請があり、中にはアナフィラキシー様の症状を伴う重症者も含まれ、重症化する前の医療機関受診や、早期の救急要請についても呼びかけています。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】